

# 株式会社TOKAIホールディングス

## 平成24年3月期第1四半期 決算短信付属資料

平成23年7月28日  
(証券コード:3167)

うれしいをつなぐ。ひろげる。



1

平成24年3月期第1四半期 実績(前年同期TOKAI連結比)

P/L



TOKAI GROUP (百万円)

	H23/3 第1四半期		H24/3 第1四半期		H23/3-H24/3	
	実績	利益率 (%)	実績	利益率 (%)	増減	増減率 (%)
売上高	40,799	—	41,727	—	927	2.3
営業利益	1,681	4.1	1,707	4.1	25	1.5
経常利益	1,384	3.4	1,504	3.6	120	8.7
四半期純利益	201	0.5	338	0.8	137	68.4

### Point

(注) 百万円未満切捨て

(株)TOKAIホールディングスとして当期が第1期となるため、前年同期の実績はございません。

従前のTOKAI連結と比較した場合、

- 売上高は、2期連続の過去最高更新。
- 営業利益は、ホールディングス化による費用負担を吸収し、2期ぶりに増益。
- 経常利益、四半期純利益は3期ぶりに増益。

## 2

平成24年3月期第1四半期 実績(前年同期TOKAI連結比)

## セグメント別売上高



TOKAI GROUP (百万円)

	H23/3 第1四半期	H24/3 第1四半期	H23/3-H24/3	
	実績	実績	増減	増減率 (%)
ガス・石油	22,674	22,756	82	0.4
情報・通信	8,198	8,863	665	8.1
CATV	5,464	6,023	559	10.2
建築・不動産	2,687	2,788	101	3.8
その他	1,774	1,295	△479	△27.0
合計	40,799	41,727	927	2.3

## Point

(注) 百万円未満切捨て

- ガス・石油は、主にアクア事業の顧客件数増加により増収。
- 情報・通信は、FTTH顧客の獲得が順調に推移し、ブロードバンドが増収となったほか、企業間通信、SIS、モバイルの各事業も増収。
- CATVは、顧客増加による増収に加え、前期子会社化したドリームウェーブ静岡の売上が加わった。
- 建築・不動産は、建売住宅販売戸数や大型の設備工事請負物件が増加し増収。
- その他は、バルブ事業を前期に譲渡したことや婚礼催事事業の前年割れにより減収。

2

## 3

平成24年3月期第1四半期 実績(前年同期TOKAI連結比)

## セグメント別営業利益



TOKAI GROUP (百万円)

	H23/3 第1四半期	H24/3 第1四半期		H23/3-H24/3	
	実績	実績	費用配分を前年同期と合わせた場合 (※)	増減	費用配分を前年同期と合わせた場合 (※)
ガス・石油	897	439	992	△458	95
情報・通信	857	951	1,344	94	487
CATV	682	429	560	△253	△122
建築・不動産	△46	△62	24	△16	70
その他	△96	△89	△81	7	15
全社・消去	△614	38	△1,133	652	△519
合計	1,681	1,707	1,707	25	25

## Point ※ セグメント間の費用配分を前年同期TOKAI連結と合わせた場合

(注) 百万円未満切捨て

- ガス・石油は、LPガス事業が仕入コスト増加や家庭用単位消費量減少があったものの、単価増や経費の削減もあり増益。一方でアクア事業が事業拡大による先行費用で損失増。
- 情報・通信は、ブロードバンドの増益に加え、企業間通信、SISも増益。
- CATVは、前期のM&A(ドリームウェーブ静岡の子会社化)により顧客件数が増加したものの、デジタル化対策費用の増加やM&Aに係るのれん償却により減益。
- 全社・消去は、ホールディングス化に係る費用負担(のれん償却、設立費用等)により損失拡大。

3

## 4

平成24年3月期第1四半期 実績(前年同期TOKAI連結比)

## 顧客件数の推移



TOKAI GROUP (千件)

		H23/3 第1四半期 実績	H24/3 期首 実績	H24/3 第1四半期 実績	H23/3-H24-3 増減	H24/3 第1四半期 増減	
ガス	LPガス	627	622	619	△8	△3	
	都市ガス	52	52	52	0	0	
	計	679	674	671	△8	△3	
セキュリティ		22	21	21	△1	0	
アクア		61	71	87	26	17	
情報通信	ブロードバンド	ADSL	215	185	176	△39	△9
		FTTH	410	488	517	107	29
		計	626	673	693	67	20
	ダイヤルアップ		11	11	11	0	0
	CATV	放送	522	562	560	※ 38	△2
		通信	167	178	180	※ 13	2
	モバイル		150	171	175	25	4
	計		1,461	1,577	1,599	138	22
	合計		2,223	2,343	2,378	155	35

※H22年11月㈱ドリームウェブ静岡の子会社化により放送44千件、通信7千件が加わった

(注)千件未満四捨五入 情報通信顧客計は、FTTH(ISP)とCATV通信(キャリア)の重複を除く 4

## 5

平成24年3月期第2四半期累計 予想(前年同期TOKAI連結比)

## P/L



TOKAI GROUP (百万円)

	H23/3 第2四半期累計		H24/3 第2四半期累計		H23/3-H24/3		当初 予想
	実績	利益率 (%)	予想	利益率 (%)	増減	増減率 (%)	
売上高	80,288	—	83,300	—	3,012	3.8	83,200
営業利益	2,484	3.1	810	1.0	△1,674	△67.4	490
経常利益	1,828	2.3	160	0.2	△1,668	△91.2	△400
四半期純利益	△353	—	△1,080	—	△727	—	△1,510

## Point

(注) 百万円未満切捨て

※情報・通信事業が好調に進捗していることから、本日(平成23年7月28日)、第2四半期累計期間の業績予想を上方修正しております。

(株)TOKAIホールディングスとして当期が第1期となるため、前年同期の実績はございません。

従前のTOKAI連結と比較した場合、

▶売上高は、2期連続の過去最高更新。

▶営業利益、経常利益は、ホールディングス化による費用負担等により2期連続の減益。

## 6

平成24年3月期第2四半期累計 予想(前年同期TOKAI連結比)

## セグメント別売上高



TOKAI GROUP (百万円)

	H23/3 第2四半期累計		H24/3 第2四半期累計		H23/3-H24/3	
	実績		予想		増減	増減率 (%)
ガス・石油	42,717		44,400		1,683	3.9
情報・通信	16,897		18,300		1,403	8.3
CATV	10,977		12,200		1,223	11.1
建築・不動産	6,591		6,100		△491	△7.4
その他	3,103		2,300		△803	△25.9
合計	80,288		83,300		3,012	3.8

## Point

(注) 百万円未満切捨て

- ガス・石油は、LPガス事業の単価増や機器販売増加、アクア事業の顧客件数増加により増収。
- 情報・通信は、FTTH顧客の獲得が順調に推移し、ブロードバンドが増収となるほか、企業間通信、SIS、モバイルの各事業も増収。
- CATVは、顧客増加による増収に加え、前期子会社化したドリームウェーブ静岡の売上が加わる。
- 建築・不動産は、新築請負住宅引渡し減少や大型の建築請負物件の減少等により減収。
- その他は、バルブ事業を前期に譲渡したことや婚礼催事事業の前年割れにより減収。

6

## 7

平成24年3月期第2四半期累計 予想(前年同期TOKAI連結比)

## セグメント別営業利益



TOKAI GROUP (百万円)

	H23/3 第2四半期累計		H24/3 第2四半期累計		H23/3-H24/3	
	実績		予想	費用配分を前年同期と合わせた場合 (※)	増減	費用配分を前年同期と合わせた場合 (※)
ガス・石油	345		△670	420	△1,015	75
情報・通信	1,984		1,580	2,380	△404	396
CATV	1,530		680	940	△850	△590
建築・不動産	221		△140	50	△361	△171
その他	△394		△340	△320	54	74
全社・消去	△1,204		△290	△2,650	914	△1,446
合計	2,484		810	810	△1,674	△1,674

## Point ※ セグメント間の費用配分を前年同期TOKAI連結と合わせた場合

(注) 百万円未満切捨て

- ガス・石油は、LPガス事業が仕入コスト増加や家庭用単位消費量減少を見込むものの、単価増や経費の削減もあり増益。一方でアクア事業が事業拡大による先行費用で損失増。
- 情報・通信は、ブロードバンドの増益に加え、企業間通信、SISも増益。
- CATVは、前期のM&A(ドリームウェーブ静岡の子会社化)により顧客件数が増加するものの、デジタル化対策費用の増加やM&Aに係るのれん償却により減益。
- 全社・消去は、ホールディングス化に係る費用負担(のれん償却、設立費用等)により損失拡大。

7

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

本資料に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

株式会社TOKAIホールディングス 広報・IR室  
〒420-0034 静岡市葵区常磐町2丁目6番地の8  
TEL:(054)275-0007  
FAX:(054)275-1110  
<http://tokaiholdings.co.jp>  
e-mail: [hd-info@tokaigroup.co.jp](mailto:hd-info@tokaigroup.co.jp)

うれしいをつなぐ。ひろげる。

